

## 評価報告書の構成（案）

- ・はじめに
- ・評価小委員会委員名簿
- ・評価検討会委員名簿
  - A. 【反復投与毒性試験と遺伝子発現変動による発がん性等発現可能性情報の取得手法の開発】
  - B. 【肝臓毒性、腎臓毒性及び神経毒性 in vitro 試験法の開発】
- ・石油精製物質等の新たな化学物質規制に必要な国際先導的有害性試験法の開発の評価に係る省内関係者
- ・審議経過
  - A. 【反復投与毒性試験と遺伝子発現変動による発がん性等発現可能性情報の取得手法の開発】
  - B. 【肝臓毒性、腎臓毒性及び神経毒性 in vitro 試験法の開発】
  
- ・評価報告書概要
  
- ・第1章 評価の実施方法
  - 1. 評価目的
  - 2. 評価者
  - 3. 評価対象
  - 4. 評価方法
  - 5. 評価項目、評価基準
  
- ・第2章 プロジェクトの概要
  - 1. 事業の目的・政策的位置付け（A、B 共通事項）
- A. 【反復投与毒性試験と遺伝子発現変動による発がん性等発現可能性情報の取得手法の開発】
  - A-2. 研究開発等の目標
  - A-3. 成果、目標の達成度
  - A-4. 標準化等のシナリオ、波及効果について
  - A-5. 研究開発マネジメント・体制・資金・費用対効果等
- B. 【肝臓毒性、腎臓毒性及び神経毒性 in vitro 試験法の開発】
  - B-2. 研究開発等の目標
  - B-3. 成果、目標の達成度
  - B-4. 標準化等のシナリオ、波及効果について
  - B-5. 研究開発マネジメント・体制・資金・費用対効果等

・第3章 評価

1. 事業の目的・政策的位置付けの妥当性 (A、B 共通事項)

A.【反復投与毒性試験と遺伝子発現変動による発がん性等発現可能性情報の取得手法の開発】

- A-2. 研究開発等の目標の妥当性
- A-3. 成果、目標の達成度の妥当性
- A-4. 標準化等のシナリオ、波及効果についての妥当性
- A-5. 研究開発マネジメント・体制・資金・費用対効果等の妥当性
- A-6. 総合評価
- A-7. 今後の研究開発の方向等に関する提言
- A-8. 個別要素技術について

B.【肝臓毒性、腎臓毒性及び神経毒性 in vitro 試験法の開発】

- B-2. 研究開発等の目標の妥当性
- B-3. 成果、目標の達成度の妥当性
- B-4. 標準化等のシナリオ、波及効果についての妥当性
- B-5. 研究開発マネジメント・体制・資金・費用対効果等の妥当性
- B-6. 総合評価
- B-7. 今後の研究開発の方向等に関する提言
- B-8. 個別要素技術について

・第4章 評点法による評点結果

A.【反復投与毒性試験と遺伝子発現変動による発がん性等発現可能性情報の取得手法の開発】

B.【肝臓毒性、腎臓毒性及び神経毒性 in vitro 試験法の開発】

参考資料1 経済産業省技術評価指針

参考資料2 経済産業省技術評価指針に基づく標準的評価項目・評価基準

参考資料3 平成22年度事前評価報告書(概要版)

参考資料4 石油精製物質等の新たな化学物質規制に必要な国際先導的有害性試験法の開発基本計画